



保健だより



2026.10.1 南青山病後児保育室

インフルエンザ流行に伴いお問い合わせが増えています！

今シーズンは早い時期からインフルエンザの流行期に入り 病後児保育室へのお問い合わせも多くいただいています。

インフルエンザ罹患時のお預かりについて

南青山病後児保育室での対象が回復期であること 隔離室が無いことから 基本的にはインフルエンザと診断された場合のお預かりは致しかねます。

ただし 下記の場合のみ予約を受け付けています。

1 発症後5日目 解熱後3日目にあたるいずれかの遅いほうの日（発症日及び解熱した日を0日とする）で 前日に受診し 医師から病後児保育室の利用が可能と利用連絡票に記載されていること。

2 上記に加え お電話をいただいた時点で 他の疾患での予約が入っていない場合のみとなります。

感染症感染経路

飛沫感染：感染者の咳やくしゃみ 会話で飛び散る唾液の小さな粒（飛沫）を通じて感染します。

⇒例）インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症等

エアロゾル感染：飛沫よりもさらに小さな粒（エアロゾル）が空気中を漂い 離れた場所の人でも感染します。換気の悪い空間でリスクが高くなります。⇒例）新型コロナウイルス感染症等

空気感染：飛沫から空気が蒸発しマスクの隙間より小さな病原体が空中を漂うので同じ部屋にいただけで感染する可能性があります。⇒例）麻疹 水痘 結核等

接触感染：病原体が付着した手や物を触った後 手を洗わずに目や口を触ることで感染します。

⇒例）ノロウイルス感染症 アデノウイルス結膜炎

家庭でできる感染対策

* 家庭に病原体を持ち込まない・拡げないためこまめに手を洗う。

* 咳エチケットを心がける。

多くの感染症が咳やくしゃみの飛沫に含まれる病原体から感染します。人が集まる場所で咳やくしゃみが出るときはマスクを着用する・ハンカチなどで鼻・口を覆う等し なるべく周囲の人から離れます。

マスク着用など 小さな子どもには予防するための行動が難しいところですが 大人が感染対策をとり予防することは大切です。